

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 地域医療研修推進事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500 千円 (前年度予算額： 1,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
要求額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
決定額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内には中小病院及び診療所が多く、地域でニーズの高い診療科目を横断的・総合的に診療できる総合診療医が求められている。

これまでの総合診療医の育成は、各医療機関がそれぞれプログラムを作成して実施しており、ノウハウが共有されていなかったため、全県的に総合診療医育成のための地域医療研修プログラムを立ち上げ、そのプログラムを使って学生、研修医に対し広く地域医療研修を実施し、充実させる必要がある。

(2) 事業内容

全県的な地域医療研修体制を構築し、医師の県内への呼び込み・定着を図るための以下の事業に要する経費に対し、補助金を交付する。

ア 地域医療研修検討会運営事業

- ・診療所・病院間連携の専門医プログラムの更新に向けた検討
- ・先進的に教育システムを確立している施設の教育ノウハウを県全体で共有し、地域医療研修の質の向上を図る

イ 地域医療向上推進事業

- ・学生・研修医・専攻医向けの総合診療専攻医参加によるミーティングやセミナーの開催

ウ 初期臨床研修における地域医療研修システムの改善

- ・医師不足圏域でより多くの研修医が研修できる場づくり
- ・指導できる人材の育成及び指導の機会の拡大

- エ 岐阜大学医学生等の県内定着への支援
・総合診療に関する研修会の開催
(補助先) 岐阜大学医学部

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・補助率 10 / 10
※「地域医療介護総合確保基金」を活用

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,500	地域医療研修の質の向上のための事業に要する経費への補助
合計	1,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第8期）
第2章 医療提供体制の構築
第8節 へき地医療対策
・第11次岐阜県へき地保健医療計画

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域医療研修を充実させ、岐阜県ブランドの研修体制を作ることにより、医師の県内への呼び込み・定着を図る。また、地域医療機関での研修体制を充実することにより、育成体制の強化とともに医師不足圏域の活性化及び医師の確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
① 人口10万人対医療施設従事医師数	173.0人	224.5人 (R2)	235.9人 (R5)	235.9人 (R5)	235.9人 (R5)	95%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	令和2年4月に2名が県内の総合診療専門研修プログラムに登録した
	指標① 目標：235.9 実績：224.5 達成率：95.2%
令和 3 年度	令和3年4月に3名が県内の総合診療専門研修プログラムに登録した
	指標① 目標：235.9 実績：224.5 達成率：95.2%
令和 4 年度	令和4年4月に1名が県内の総合診療専門研修プログラムに登録した
	指標① 目標：235.9 実績：224.5 達成率：95.2%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	現在の地域医療研修は医療機関ごとに作成しており、先進的な教育ノウハウの共有が求められている。また、指導医の育成機会をすることにより、診療所等で勤務する医師が増え、地域医療の活性化に繋がる
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	事業実施により7つの県内専門研修プログラムが作成され、また、へき地診療所を含む多くの医療機関が連携施設として参画することができ、成果が表れている。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜大学医学部地域医療医学センターが主体となって実施する検討会に対し支援することで、県内医療機関への参画依頼が容易にでき、効率的に事業を進めている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 できるだけ多くの医療機関で地域医療研修の指導ができる指導医を育成し、体制を整える必要がある</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県全体で地域医療研修をシステム化・ブランド化していくためには、単年度では実施できず、複数年の積み上げにより岐阜県ブランドの研修体制確立を図る。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	